

## ○啓発

### 1. 環境保全に関する啓発

#### (1)大気環境の保全

自動車は、通勤、通学、買い物など私たちの生活から切り離せないものとなっているが、便利さの反面で大気汚染や騒音、悪臭などを引き起こし、地球温暖化の原因にもなっている。このような自動車交通に伴う環境への負荷を減らすため、令和7年度においては、次のとおりの事業を実施した。

##### ア．懸垂幕の掲示等

市庁舎懸垂幕塔にエコドライブの懸垂幕を掲示し、公用車にエコドライブのマグネットシートを貼付して、大気環境の保全に向けた啓発活動を実施した。

##### イ．関連行事などにおける啓発活動の推進

「530 のまち環境フェスタ」の行事において、エコドライブに関連した啓発品の配布を行い、エコドライブの普及啓発や実践を呼びかけた。

#### (2)水環境の保全

令和7年度においては、主に次のとおりの事業を実施した。

##### ア．関連行事などにおける啓発活動の推進

「豊橋みなとフェスティバル」、「530 のまち環境フェスタ」などの行事において、啓発品の配布を行い、水環境の保全に向けた啓発活動を実施した。

##### イ．環境教育用チラシの配付

市内全小学校の4年生を対象に環境教育用チラシ「ぼくたちどうなるの? (海洋ごみを無くそう)」を配付した。



環境教育用チラシ

## 2. 環境教育の推進

### (1) 小中学校訪問授業

- ア. 目的:こどもたちに、身の回りの環境問題に目を向けて興味を持ち、理解を深めてもらうため、小学校 4～6 年生を対象に実施。
- イ. 方法:パソコン等を使用しながら、職員が学校に出向き実施。

#### 〈テーマ1〉アカウミガメと表浜海岸の自然を守ろう

- 1) 実施期間:令和7年5月8日～令和8年1月16日
- 2) 場 所:市内6校 10 学級にて実施(学年単位)
- 3) 内 容:アカウミガメの生態や産卵地の自然環境について話をすすめ、アカウミガメの保護や表浜海岸の自然環境を保全するために私たちが心がけねばならないことについて考える。

#### 授業の要旨

- |                    |                    |        |
|--------------------|--------------------|--------|
| ① 産卵地である表浜海岸の自然環境  | ② アカウミガメの生態        | ③ 実態調査 |
| ④ 表浜海岸で今問題になっていること | ⑤ 本市の保護活動への取組みとお願い |        |

#### 〈テーマ2〉生き物の宝庫 汐川干潟

- 1) 実施期間:令和7年6月2日、令和7年6月11日
- 2) 場 所:市内2校3学級にて実施(学年単位)
- 3) 内 容:汐川干潟の特色や地域における役割について学び、古くから地元住民に親しまれてきた干潟の育む自然を後世へ引き継いで行くためにできることについて考える。

#### 授業の要旨

- ① 汐川干潟ってどんな場所？(干潟の役割とは、汐川干潟はどこにある？)
- ② 汐川干潟の特徴(汐川干潟の生き物、汐川干潟と世界のつながり)
- ③ 汐川干潟と外来生物
- ④ 干潟を守るために私たちにできること

### (2) 汐川干潟保全実践活動(環境学習デイ)

「多様な生物の生息の場としての干潟」、「水質浄化機能としての干潟」の重要性を広く認識し、地域の住民や小中学校等の地元とともに、三河湾の保全と再生の意識を将来へ継承することを目的として平成 26～28 年度の 3 年間にかけて実施した「干潟保全実践プロジェクト」の活動を実施してきた。平成 29 年度以降は、地域住民及び地元の小中学校が主体となり「汐川干潟保全実践活動」として、活動している。

#### 令和7年度における実施内容

| 日付             | 実施内容   | 実施場所      |
|----------------|--------|-----------|
| 令和7年 10 月 17 日 | 環境学習デイ | 汐川干潟(杉山町) |



環境学習デイ